

キラキラ輝いています！

いつまでも愛される心に残る曲を

佐川 ひろき
佐川 紘樹さん (南台)

Hiroki
Sagawa
Composer



佐川 紘樹さん プロフィール

三代目 J Soul Brothersの『花火』を作曲。今夏、オリコンのデイリーランキングで1位を獲得。ほかにも城田優・東京女子流・K G・Juliet など数々のメジャーアーティストに楽曲を提供している。南台在住、26歳。

■メジャーの曲をプロデュース

音楽の世界で活躍したいと願う人は多い。しかし、世間に知られるようになるには努力と運がなければ、夢はかなえられない。日本を代表するダンス&ボーカルユニットEXILEの姉妹ユニットである三代目 J Soul Brothersに『花火』という楽曲を提供したのが南台在住の佐川 紘樹さんである。

「やっとメジャーの曲を手がけられるようになりました。いずれはEXILEの曲に関われればと思います」と話す佐川さん。音楽番組で自分の曲が流れ、作曲家として名前が出たのを見て、多くの友だちが連絡をくれたときの感動は忘れられないとうれしそうに話してくれた。

■プロとしての決意

本格的に作曲活動を始めたのは17歳のとき、現代音楽の作曲家、野村 基一氏に師事、基礎を身につけた。音楽との出会いは、母親がオルガン奏者であったことから3歳でピアノを始め、以来いろいろな楽器に慣れ親しんできた。本気で作曲家になる

うと決めたのは、中学生のとき見た「歌と歌手」を発掘する番組で、名だたる音楽家たちが審査をする姿に憧れを感じ、誰もが知っている曲を作りたいと思った。

順風満帆に見える佐川さんだが、駆け出しのころは生活もたいへんだった。「音楽の専門学校を卒業して5年になりますが、最初はアルバイトをして生計を立てていました。でも、それが本業になっていく気かしてバイトはすぐに辞めました」と、作曲家としてプロでやっていく決意、プライドがそうさせたと語る。その強い意志が、夢をつかむバネになっている。

■心の余裕が大切

「華やかな世界に見えますが、やっていることは地味で、スタジオにこもって何時間も機材の前に格闘することはしばしばです」と、そのストレスはたいへんなもの。そんなとき、一番の息抜きは自然に触れること。鎌北湖や宿谷の滝に行き、リフレッシュするという。

「人生もそうです、曲作りも遊



制作室で作業をする佐川さん

び心がないといいものはできません。エンターテイメントは真面目すぎるとダメですね」と明るく答える佐川さん。オンオフの切り替えは重要だと話す。

■誰もが知っている曲を作りたい
風貌はミュージシャンらしく、異彩を放っているように見えるが、実は心優しい家族想いの青年である。幼いころに父親を亡くし、母親の期待に応えたくてがんばってきた。それは、人生の大きな糧となっっているに違いない。

将来の夢の問いに、「自分の前に道はなく、自分の後に道ができる、だからこの目標とされるような仕事をしたい」、「時代を生きた証を曲に託したい」と語ってくれた。多くの期待を胸に、さらなる夢をかなえてくれるだろう。